日本ジェネリック農薬協議会設立趣旨書

わが国の農業は、農産物の品質（安全・安心）を第一に発展を遂げてまいりました。しかしながら、農業者の高齢化や人口減少の進行により国内市場の縮小や農地問題（農地維持・集積）、食料自給率低下の懸念、世界の食料をめぐる環境変化およびグローバル化の進展など様々な構造変化に直面しており、将来に亘る持続可能な農業のあり方に大きな転換点を迎えています。

このような状況下、日本の農業はより合理的・効率的な農業への変革と、農産物の高付加価値化による競争力強化をすすめる中、更なる農業生産資材のコスト削減が強く求められています。

特に農薬に関して、日本の食の安全・安心を確保してきた日本の農薬登録制度を尊重しつつ、農薬価格低減に資するために、他の先進国並みのジェネリック農薬の導入を図っていくことが重要になってきました。

このため、日本におけるジェネリック農薬の適切かつ速やかな導入・普及を図ることを目的として、今般、日本ジェネリック農薬協議会を設立いたします。本協議会では、ジェネリック農薬に関する登録要件、品質管理、技術普及のあり方について協議・検討し、積極的かつ恒常的に提言してまいります。

以　上